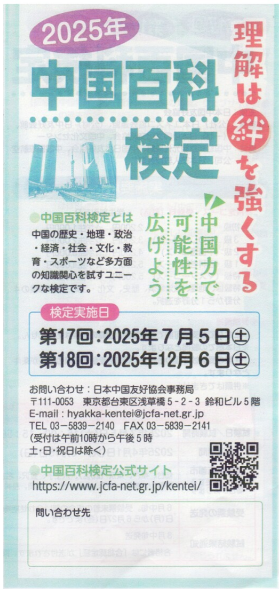


日中友好新聞

第18回 12/6実施中国百科検定の募集始まる

日中友好協会
愛知県連合会
県連版第348号
〒464-0821
名古屋市中種区
末盛通4-18
電話052-763-1152
Fax 052-763-1153
http://www.
nittyu-aichi.jp
E-mail: jc77918@
amber.plala.or.
jp
郵便口座
00890-6-25484

中国語教室の受講生
を募集中です。一緒に
楽しく中国語を
学習しましょう。



2025年
中国百科検定
理解は絆を強くする
中国力で可能性を広げよう

中国百科検定とは
中国の歴史・地理・政治・経済・社会・文化・教育・スポーツなど多方面の知識関心を試すユニークな検定です。

検定実施日
第17回:2025年7月5日(土)
第18回:2025年12月6日(土)

お問い合わせ: 日本中国友好協会事務局
〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-2-3 錦和ビル5階
E-mail: hyakka-kentei@jcla-net.gr.jp
TEL: 03-5639-2140 FAX: 03-5639-2141
受付時間 平日10時から午後5時
土・日・祝日は除く

中国百科検定公式サイト
https://www.jcla-net.gr.jp/kentei/

問い合わせ先

2026年 カレンダーの普及 をお願いします



▼次回は表題のように12月6日(土)に名古屋市のレンタル会議室で行います。会員の受験者には、県連から千円の受験料補助があります。

▼先日の「百科検定推進会議」で印象的だったのは、東京都連支部の古参の役員が、「このままでは高齢化等による協会の先細りは否定できない。」

▼そうすると、現状で期待できるのは、百科検定を受験した大学生や若い人が、副賞として中国派遣され、その中から核になる人が出てきて、「青年部」を立ち上げた。

▼ここに私は協会の将来への継承のひとつの糸口を見出したい」というものでした。

▼愛知県でも、いま大学の先生などに呼びかけて、中国への学生派遣はとて喜ばれています。そこに検定の準備をお願いする方向で動いています。

▼同時に、別紙「カン募金」のお願いのように、ネット時代に合わせ、中国関係のネットにアップするため、作問委員会は夏休み返上で準備してきました。

▼協会と青年へのバックアップのため、KANKA募金にもぜひ協力ください。

▼まもなく来年のカレンダーが出来上がってきます。

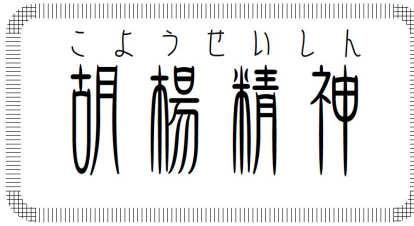
▼他団体も発行するので先手必勝です。早めに知り合いなどに予約を取ってください。

▼県連にとっても物資販売はこれだけで、そして県連と支部にとって大切な収入源になっています。

▼これはカンパという性格も持つものです。ぜひ会員や周りの方にお願いして広めてください。

▼コロナも収まり、ようやく中国への旅行も増加しています。写真は通年で募集しています。こちらの方でもぜひご協力をお願いします。

◎ カレンダーは一部1200円です。



人との出会いは不思議で、20年前に出会った長春の書家が来日し犬山の再会となった。

左の写真はその施永安さんから贈る。直径3cmもある大筆の先で描くので不自由だが、あえて細筆で器用に書かず、常用する篆書の筆で描く。

「胡楊」というのは新疆のタクラマカン砂漠に生える樹木で、乾燥と砂嵐との中でさんざん苦労して生き延びている。彼は出張先で「胡楊」に出会い、描きたら「胡楊頌」と呼ぶ。

木俣 博



県連だより

- ▼緑支部: 9月8日、「中国東北地方旅行」(15人参加)をしました。
- ▼豊田支部: 10月5日「中国カフェ」最終回を迎えます。
- ▼9月21日(日)午後、中国人強制連行瑞浪慰霊祭。
- ▼9月29日(月) 次回: 9月28日(日) 14時
- ▼76周年(国慶節)並びに名古屋総領事館設立20周年レセプション 18:30
- ▼漢詩の会

2025年 平和大会in愛知・分科会の案内

台湾有事を許さない 台湾反戦勢力との交流会

〈講演〉

台湾反戦行動の歴史と挑戦



講師 傅大為氏 (中国と西洋の科学史)

日時 10月26日(日) 9:15~11:50

会場 名古屋港湾会館・2階大会議室
(地下鉄名港線・名古屋港駅下車、徒歩3分)

台湾の現状をリアルに知り、「台湾有事」を起こさせないために何をなすべきか、一緒に考えましょう。

【プログラム】

9:15 ~ 大西広 (日中友好協会副理事長)
録画による開会あいさつ、経過説明と台湾についての概説

9:25 ~ 吉田万三 (日本 AALA 代表理事)
より

9:35 ~ 10:20 傅大為 (台湾陽明交通大学
名誉教授) によるスピーチ

10:20 ~ 11:40 会場からの発言と質疑応答

傅大為 (フー・ダイウェ) 教授の紹介

▼清華大学物理学科卒業 (1975年)、コロンビア大学哲学博士 (1986年)、国立陽明大学科学技術と社会研究所教授 (2008-2019年)。専門は科学史 (中国の科学史と西洋の科学史) と科学哲学、ジェンダーと医療、科学技術社会論 (STS)。

▼主な著作に『異時空における知識の追求: 科学史と科学哲学の論文集』(1992年)、『アジアの新しい身体: ジェンダー、医療、そして近代台湾』(2005年)、『STSの起源と構築』(2019年)があり、最近では『介入と応答: フェミニスト科学技術研究とSTS』(2022年)を出版した。

▼かつて清華大学で教鞭を執っていた際 (1986-2007年)、台湾の戒厳令解除を経験し、戒厳令前後の台湾の社会運動に積極的に参加。期間中高雄医学大学のジェンダー研究所でも2年間台湾南部のジェンダー運動を推進。▼2019年に陽明交通大学を退職後、執筆研究や社会運動、国際情勢や台湾の未来に引き続き関心を持ち、直近では「ラディカル知識人」という書籍の執筆を準備している。▼2023年3月、友人数人と共に台北で台湾「反戦声明」を發起し、その後台湾での反戦宣伝と行動に積極的に従事し、東アメリカ、西アメリカ、韓国、香港、アモイなどの友人と連携・協力しあっている。最近、台湾の反戦運動の友人たちと共に『反戦デジタルブック』を6冊出版した (2024年)。

連絡先: 日中友好協会愛知県連合会 ☎052・763・1152

同: 愛知県AALA連帯委員会 ☎0567・24・0568

平和大会(特に日中共催の分科会)にご参加ください

▼10月25日(土) 26日(日)の2日間、2025年日本平和大会in愛知が開催されます。(別紙チラシ参照) 初日午後13時~15時の開会集会は金山の名古屋市民

会館で行われます。▼愛知県の参加者は1日あたり1000円の参加費(学生など500円、高校生以下無料)です。▼チケットの参加項目に○をして、確認

する方式です。よろしくお願ひします。(県連にもあります。▼県連は、傅先生との打ち合わせ歓迎会の設定と講演の通訳の手配を行いました。



第49回愛知きりえ展

時: 10月7日(火)~12日(日)
10:00~17:00、入場無料。と
ころ: 名古屋市民ギャラリー栄
8階、主催: 愛知きりえの会
(櫻井久美子)

中国ものごころナー

58. 中国の絶景3選

中国は、その国土の広さ(日本の15倍)と地域ごとに異なる風土によって、壮大なスケールの絶景地がいくつもあります。その美しさは、まさに息を呑むほどです。

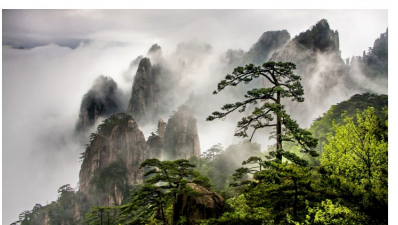
九寨溝には色とりどりの湖があり、その周囲が森林に囲まれていきます。湖には水藻と鉱物が豊かで、そのおかげで、時間によって、季節によって、いつも異なる色をしております。特に木々が色づき、その木々が湖面に鏡のように反射する紅葉の時期が一番美しいです。

“黄山を見ずして、山を見たというなれば”と中国で語られるほど、威厳に満ちた表情を見せる「黄山」は、かつて仙人が住んでいたと信じられていたほどに、この世のものとは思えない絶景地です。



九寨溝

湖南省にある巨大な石柱が立ち並ぶ武陵源は映画『アバター』に登場する惑星のモデルにもなったとされる景勝地です。200mを超える石柱が約3千本も立ち並び、



黄山



武陵源